

令和7年度「全国学力・学習状況調査」の結果 —分析から見てきた成果・課題と今後の取組について—

区 名	鶴見区
学 校 名	横堤小学校
学校長名	原田 睦人

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、令和7年4月17日（木）に、6年生を対象として、「教科（国語・算数・理科）に関する調査」と「児童質問調査」を実施いたしました。

大阪市教育委員会では、保護者や地域の皆様等に説明責任を果たすとともに、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、各学校が調査結果や調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにしてまいりましたので、本市教育委員会の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。

1 調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2 調査内容

(1) 教科に関する調査

- ・国語
- ・算数
- ・理科

(2) 質問調査

- ・児童に対する調査
- ・学校に対する調査

3 調査の対象

- ・国・公・私立学校の小学校第6学年の原則として全児童
- ・横堤小学校では、第6学年 111名

令和7年度「全国学力・学習状況調査」結果の概要

全国平均と本校の平均正答率、平均無回答率のポイント差は次の通りであった。

○国語	平均正答率・・・	－0.8 ^{ポイ}	平均無回答率・・・	－0.1 ^{ポイ}
○算数	平均正答率・・・	＋1.0 ^{ポイ}	平均無回答率・・・	＋1.1 ^{ポイ}

平均正答率は、国語より算数において全国平均より上回った。

平均無回答率は、国語で全国平均より下回ったため、回答しようとする姿勢が見られた。

分析から見てきた成果・課題

教科に関する調査より

〔国語〕

・【言葉の特徴や使い方に関する事項】、【我が国の言語文化に関する事項】は、それぞれ4ポイント以上上回った。しかし、【情報の扱い方に関する事項】は、約2ポイント下回った。

・【話すこと・聞くこと】、【書くこと】、【読むこと】の3項目においては、大阪市・全国平均をどれも下回った。

〔算数〕

・【図形】領域はよく理解できており、大阪市・全国平均より4ポイント以上も上回った。ほかにも、【数と計算】、【測定】、【データ活用】の領域でも1～2ポイント上回った。一方で、【変化と関係】の領域では、2ポイント以上下回った。

〔理科〕

・【粒子】、【生命】を柱とする領域では、それぞれ大阪市・全国平均を2～4ポイント上回った。その一方で【エネルギー】、【地球】を柱とする領域では、1～5ポイント下回った。

質問調査より

・【食べる、寝る、起きる】の基本的生活習慣は、【食べる、寝る】に関しては、全国平均を約2ポイント上回った。一方、【起きる】に関しては、約2ポイント下回った。このことから、起きる時間が曜日によってまちまちになっていることが考えられる。

・【自分には良いところがある（昨年度比8ポイント↑）】、【将来の夢や目標を持っている（昨年度比2ポイント↑）】、【人の役に立つ人間になりたい（昨年度比10ポイント↑）】といった項目は、大きくポイントを上げる結果となった。

・【いじめは、どんなことがあってもいけないことだ】と思う回答は、100%と全国平均を約20ポイントも上回った。

今後の取組(アクションプラン)

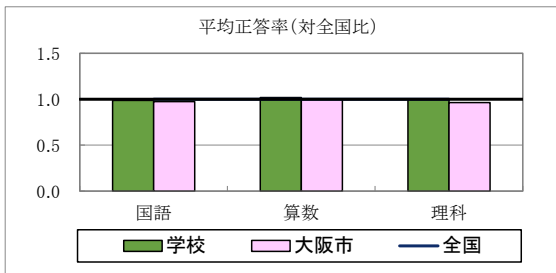
学校教育改善【アクションプラン】を策定し、取り組み内容を明確化して学年の実態に応じた教育活動を推進している。【生きる力・夢みる力の育成】を重点目標に、学力向上として一昨年度より【児童が思いを表現するために情報を読み解く力を育成する指導法の工夫】の研究を進め、児童が進んで自分の考えを伝えることや話し合い活動を中心にしていける授業実践に取り組んできている。

【話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか】に対しての肯定的な回答が、昨年度比8ポイントも上昇した。このことから、ペアトークやグループトークが定着し、自分と友達の意見を聞きあったり、比較しあったりしながら、新しい考えにたどり着く経験を積んできたと言える。今後も、解のない時代に向き合って、仲間と協働しながら自分なりの解を見つけられる子どもたちの育成を進めていく。

【 全体の概要 】

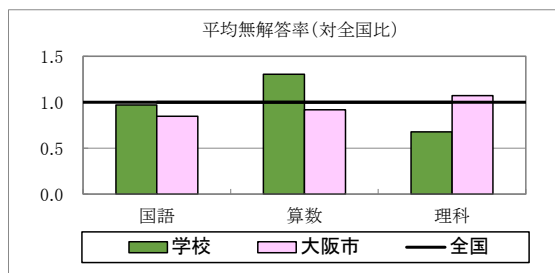
平均正答率 (%)

	国語	算数	理科
学校	66	59	57
大阪市	65	58	55
全国	66.8	58.0	57.1



平均無解答率 (%)

	国語	算数	理科
学校	3.2	4.7	1.9
大阪市	2.8	3.3	3.0
全国	3.3	3.6	2.8



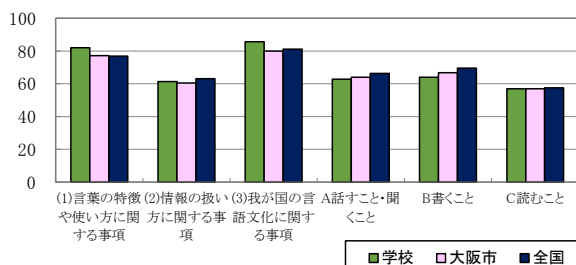
【 国 語 】

学習指導要領 の内容	対象 設問数 (問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
(1)言葉の特徴や使い 方に関する事項	2	82.0	77.1	76.9
(2)情報の扱い方に 関する事項	1	61.3	60.4	63.1
(3)我が国の言語文 化に関する事項	1	85.6	79.9	81.2
A 話すこと・聞くこと	3	62.8	64.0	66.3
B 書くこと	3	64.0	66.7	69.5
C 読むこと	4	57.0	56.9	57.5

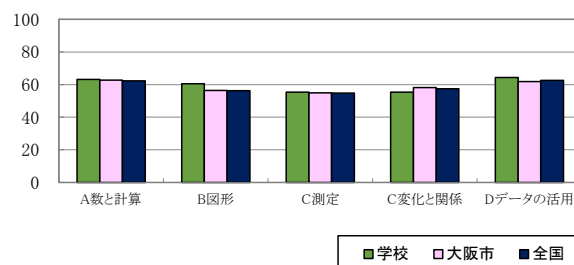
【 算 数 】

学習指導要領 の領域	対象 設問数 (問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
A 数と計算	8	63.2	62.7	62.3
B 図形	4	60.5	56.4	56.2
C 測定	2	55.4	54.9	54.8
C 変化と関係	3	55.4	58.2	57.5
D データの活用	5	64.3	61.9	62.6

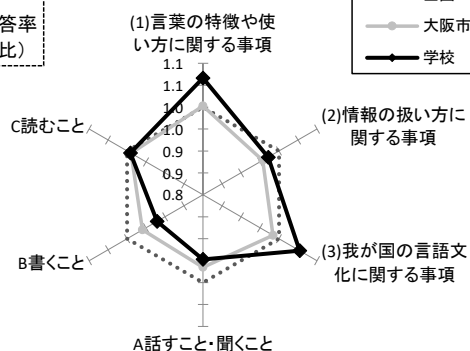
国語 内容別正答率(学校、大阪市、全国)



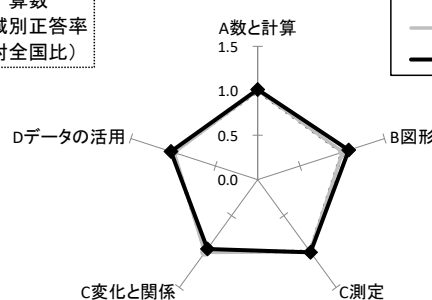
算数 領域別正答率(学校、大阪市、全国)



国語
内容別正答率
(対全国比)

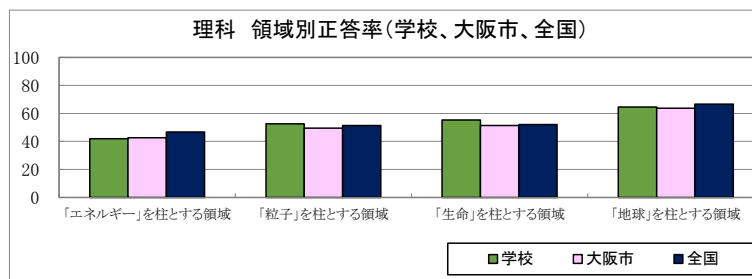


算数
領域別正答率
(対全国比)

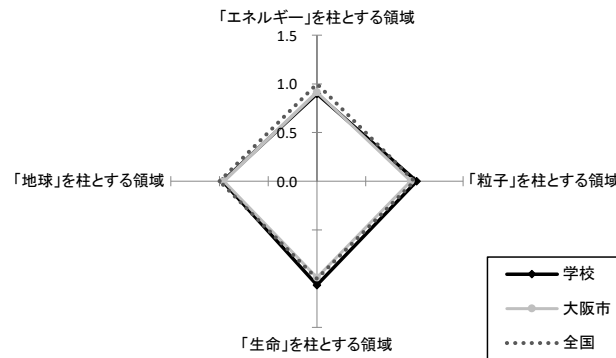


【 理科 】

学習指導要領 の区分・領域	対象 設問数 (問)	平均正答率(%)			
		学校	大阪市	全国	
A 区 分	「エネルギー」を 柱とする領域	4	41.9	42.7	46.7
	「粒子」を 柱とする領域	6	52.6	49.5	51.4
B 区 分	「生命」を 柱とする領域	4	55.4	51.4	52.0
	「地球」を 柱とする領域	6	64.6	63.8	66.7



理科 領域別正答率(対全国比)



児童質問より

質問番号

質問事項

1

朝食を毎日食べていますか

1

2

3

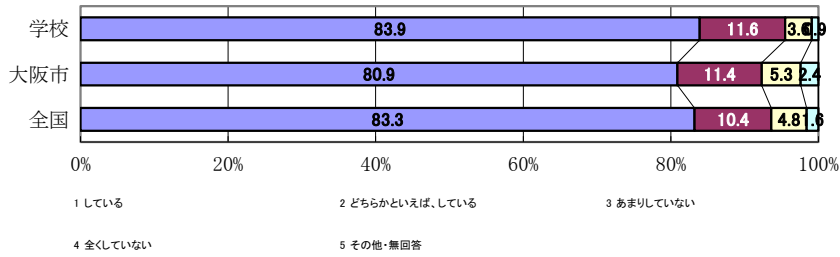
4

5

6

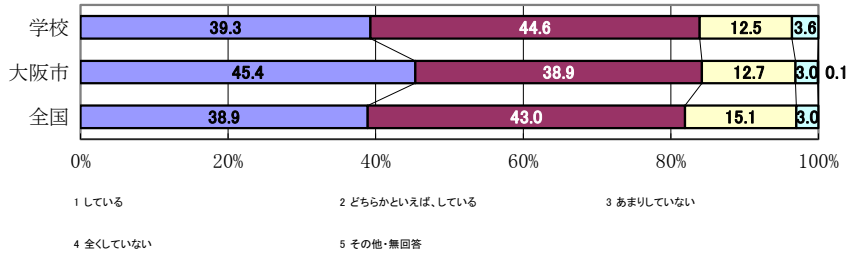
7

8



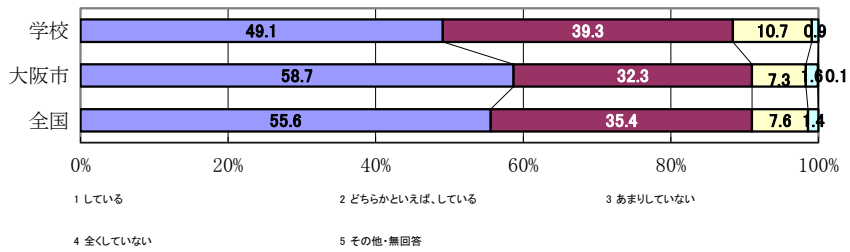
2

毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか



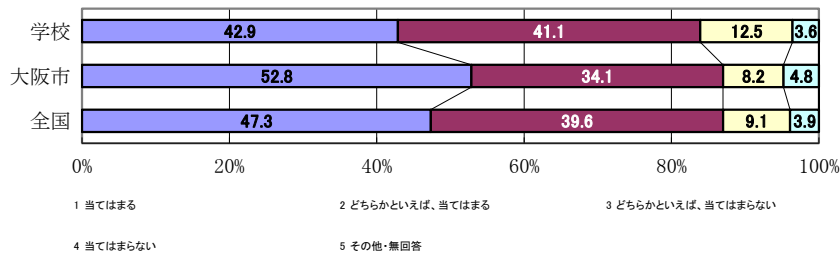
3

毎日、同じくらいの時刻に起きていますか



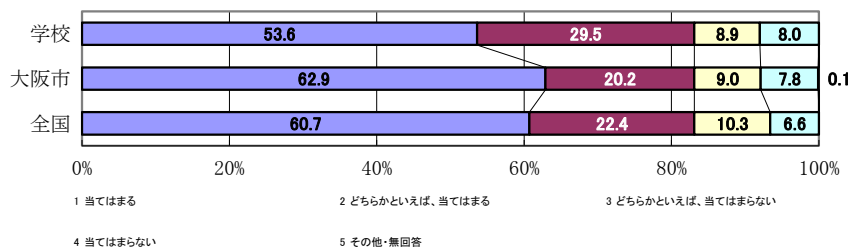
5

自分には、よいところがあると思いますか



7

将来の夢や目標を持っていますか



児童質問より

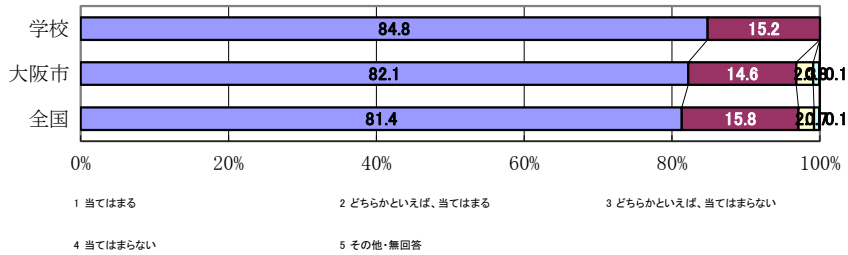
質問番号

質問事項

9

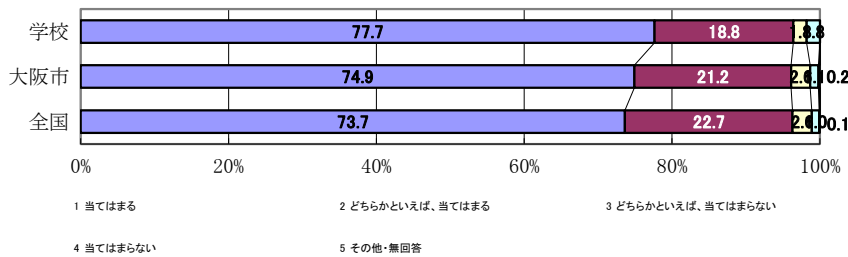
いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか

1 2 3 4 5 6 7 8



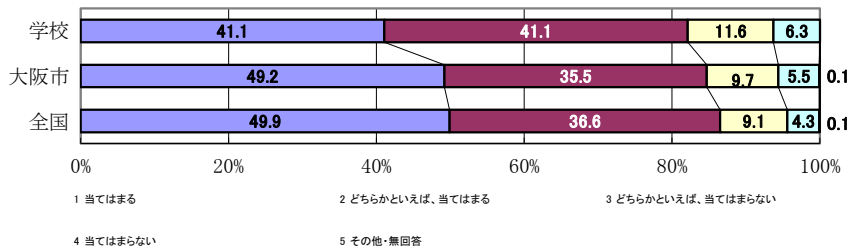
11

人の役に立つ人間になりたいと思いますか



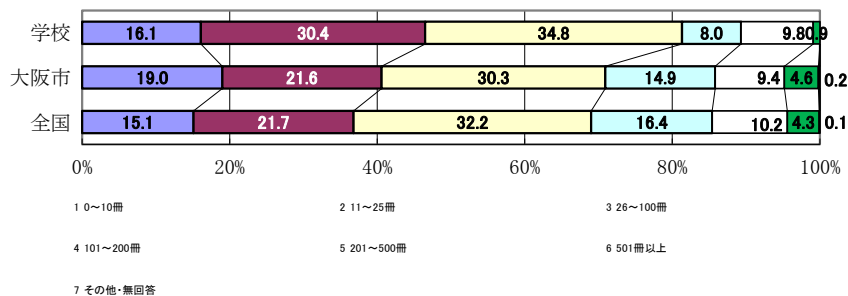
12

学校に行くのは楽しいと思いますか



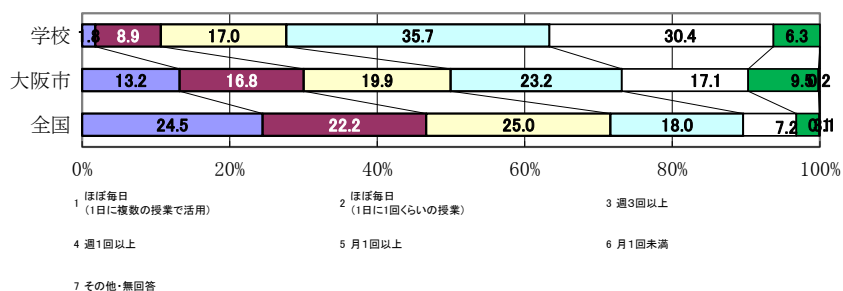
22

あなたの家には、およそどれくらいの本がありますか(雑誌、新聞、教科書は除く)



28

5年生までに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用しましたか



児童質問より

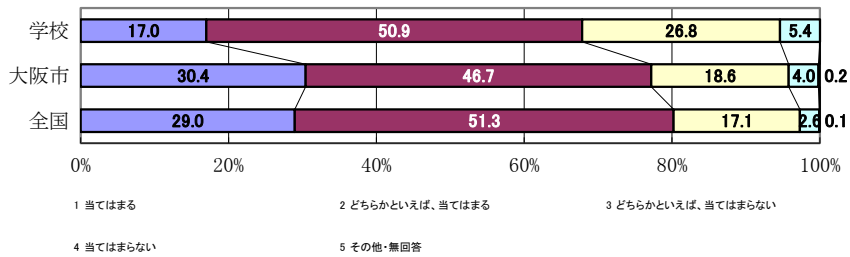
質問番号

質問事項

32

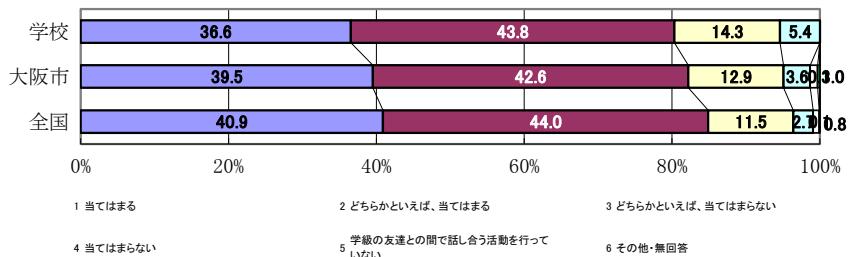
5年生までに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか

1 2 3 4 5 6 7 8



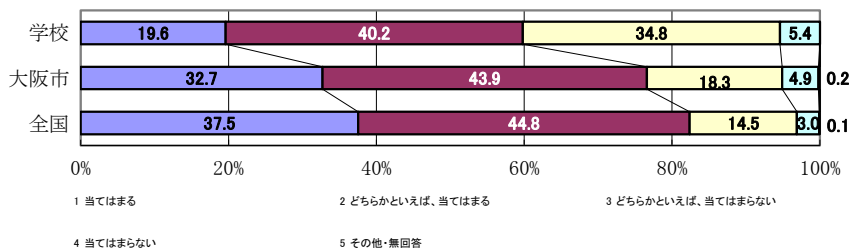
35

学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか



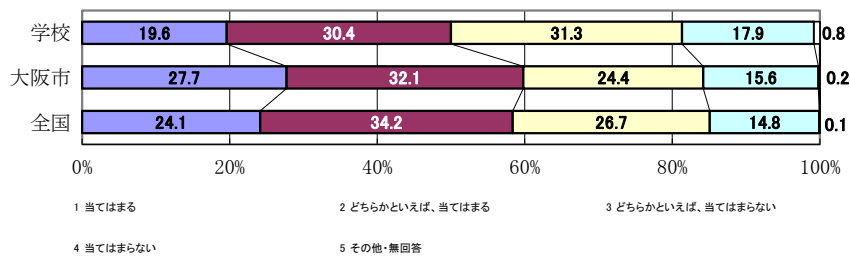
40

総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか



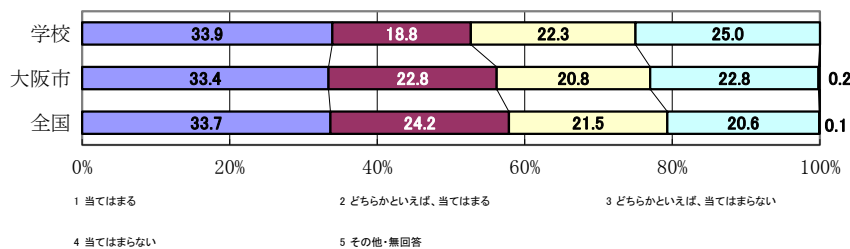
45

国語の勉強は好きですか



53

算数の勉強は好きですか



学校質問より

質問番号

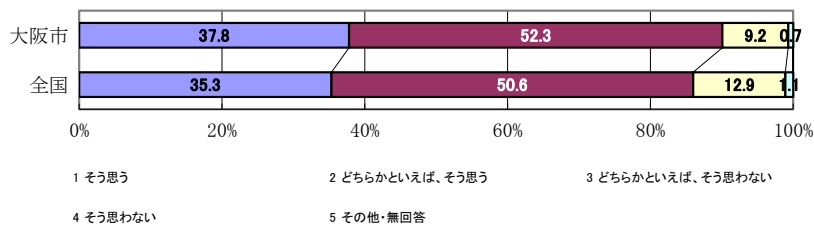
質問事項

8

調査対象学年の児童は、授業中の私語が少なく、落ち着いていると思いますか

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

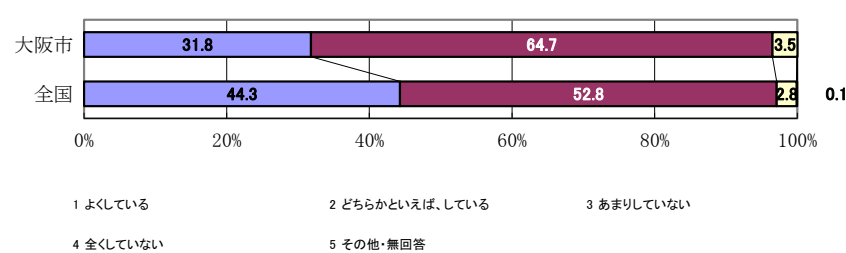
学校 「どちらかといえば、そう思う」を選択



15

児童の姿や地域の現状等に関する調査や各種データなどに基づき、教育課程を編成し、実施し、評価して改善を図る一連のPDCAサイクルを確立していますか

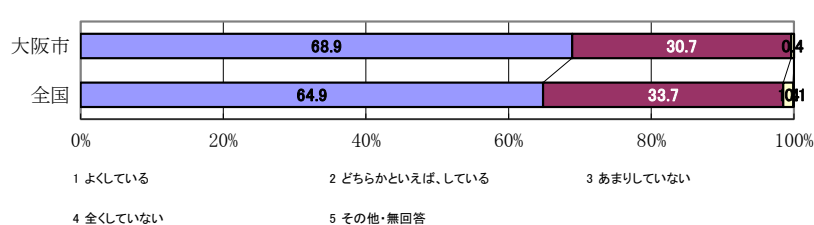
学校 「どちらかといえば、している」を選択



18

授業研究や事例研究等、実践的な研修を行っていますか

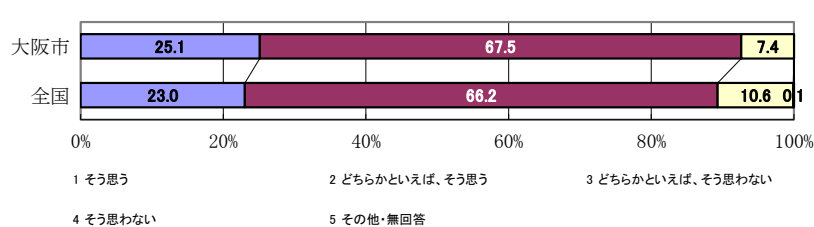
学校 「よくしている」を選択



27

調査対象学年の児童は、学級やグループでの話し合いなどの活動で、自分の考えを相手にしっかりと伝えることができていると思いますか

学校 「どちらかといえば、そう思う」を選択



28

調査対象学年の児童は、授業や学校生活では、友達や周りの人の考えを大切にしてお互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいると思いますか

学校 「どちらかといえば、そう思う」を選択

